

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 行事や会議の際に参加を勧めてはいるが、家族との交流も不足しており、家族からの要望も充分とらえられてはいない。	家族との連絡を密にし、参加しやすい機会を増やす。	法人の機関紙や、グループホームからの季刊便り、毎月の利用者の生活便りなどの充実を図る。季節の行事や、家族間での茶話会などの企画を工夫し、参加を促しながら家族の思いや要望を聞く。	12ヶ月
2	35	○災害対策 土砂災害や地震など特に夜間における避難方法が職員個々に十分周知されていない。	様々な災害を想定し、全員が避難訓練を体験してその方法を理解する。	土砂災害や台風、火災などに応じて避難訓練を計画する。職員全員に災害における心構えの学習会をする。夜間想定シュミレーションを夜勤担当職員一人一人が実践する。	12ヶ月
3	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 利用者に対する言葉かけがぞんざいになったり、横柄な態度が見られることがある。	利用者を理解し、専門職としての自覚を持つ。	カンファレンスや、スタッフミーティングの充実を図り、利用者をより理解する。介護倫理、接遇等の研修への参加、および職場内で全員が参加できるよう学習会を設ける。	6ヶ月
4	11	○運営に関する職員意見の反映 日常業務の中で運営や勤務状態の不平不満を会議の場で表出することがなく、職員の真意がはかりにくい。	職員が発言しやすい雰囲気づくりをするともに、意見を運営に反映できる機会を作る。	スタッフミーティングで運営への要望等の議題を設ける。親睦会や行事など砕けた雰囲気の中で職員の思いを聞く。目安箱やアンケートなど無記名での発言ができるよう図る。	6ヶ月
5	13	○職員を育てる取り組み 業務優先で職員に研修意欲が薄れ、参加する職員は限られた範囲になっている。	幅広いテーマで内外ともに研修や学習会に参加できる機会を作り、職員の介護スキルを上達させる。	業務時間内で出席できる研修や限られた時間で受講できる研修など、幅広い様々な研修を計画し、一人でも多くの職員が参加できるようにする。新人研修の早期実施や実技研修を開き、職員間で学ぶことへ意識を高め合う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。